



通常 国会

第 213 回通常国会閉会しました

2024.06.24

先週末、第 213 回通常国会が閉会しました。

この国会では政府が提出した 62 本の法案のうち 61 本が成立し、**その中には、子ども・子育て支援法、食料・農業・農村基本法など重要な法案が含まれます。**会期末には改正政治資金規正法も成立しました。



本国会では、思いがけず参・予算委員会初日の質問という大役をいただきましたので、震災復興、夜勤看護職員確保、産後ケア、終末期医療の法制化、国際仲裁など対策を加速したい課題について総理及び各担当大臣に質問しました。これらの中には、その後、取組みのフェーズが変わったものもあり、この場での**質問の重みを感じています。**

参議院の委員会では、厚労・法務・内閣など様々な場で質問の機会をいただき、医療・看護、子ども・子育て、地方創生、デジタル関連法案などについて質疑。なかでも、共同親権導入にかかる民法改正の審議は大変難しいものでした。**真に子どもの最善の利益が守られるように、また医療現場に混乱が起きないように、引き続き運用上の課題に取り組みます。**

看護の課題も、**訪問看護や看護師確保対策の促進が骨太に確実に書き込まれ、**ハラスメント、訪問看護の駐禁問題なども前進。まだ水面下ですが対策が進み始めたものもあります。

党では、先輩議員の皆さまのご指導とこども家庭庁の皆さまのご理解のもと、子ども・子育て DX の提言を書かせていただきました。その内容の多くが骨太の方針に盛り込まれています。

デジ育推進により、こどもにかかわる全て皆さまが、こどもたちにゆとりをもってかかわることができればと思っています。

そして本国会の最重要課題。政治資金規正法改正。党の WG のメンバー、参・特別委員会の委員として取り組ませていただきました。私は主に現行法に記載がある論点についての検討を行いました。不記載の責任の所在やその在り方、今後の政治資金の透明性の確保など一定の前進はしたものと考えています。もっとも、今後の改正法の適切な運用や、検討課題の協議がより重要ですので、自民党の一議員として真摯に取り組みます。



その他、青年局・女性局・中央政治大学院の副学院長の活動も積極的に行いました。

会期中のめまぐるしい日々の中で、**週末の看護連盟への訪問は私にとっては最もホッとできる大切な時間でした。**皆さまには心から感謝しています。皆さまのお声を国政に届けられるように引き続き頑張ります。

閉会中は、子どもたちとの時間を増やしつつ、全国の皆さまのもとへ何う予定です。

皆さまの日頃のご支援に心から感謝申し上げますとともに、引き続きご指導賜りますようよろしくお願い致します。

委員会の質疑の様子は右記 QR コードから



活動
記録

愛媛県訪問

2024.06.08-09



6月に塩崎彰久（しおざき・あきひさ）衆議院議員のご地元愛媛県に鈴木英敬（すずき・えいけい）衆議院議員と川崎ひでと（かわさき・ひでと）衆議院議員と共に伺いました。

まずは2年前も訪問した興居島（こういしま）へ。移住者や柑橘農家の皆さまと意見交換。離島の医療体制整備について考え

せられました。

その後、松山市内に戻り、「地方と日本の明日を考える対話フォーラム」へ。

看護連盟の皆さまをはじめ、塩崎議員の支援者550名の皆さまと地方の経済、少子化・子育て、医療・看護、DX、防災対策などについて話しました。大変有意義な愛媛県の滞在となりました。



【参議院】
厚生労働委員会・議院運営委員会／委員
地方創生及びデジタル社会の形成等に関する特別委員会／委員
国民生活・経済及び地方に関する調査会／委員

【自民党】
国会対策委員会／委員
厚生労働部会看護問題小委員会／事務局次長
こども・子育て DXPT/ 事務局長
厚生関係団体委員会／副委員長
青年局／次長（国際部副部長）、女性局／次長
中央政治大学院 / 副院長、食育調査会 / 事務局次長など

参議院議員

友納理緒 ともものりお

発行：自由民主党東京都
参議院比例区第六十支部
2024年7月20日

